


7

川で遊ぼう

～あんぜんに・たのしく・やさしく～

主催団体	カワラバン 担当者：代表 菅原 正徳 ☎ : 090-9745-3571 e-mail : contact@kawara-ban.org URL : https://www.kawara-ban.org/		
体験活動	<ul style="list-style-type: none"> ・川に入り全身で流れや川底の変化、水温などを感じる活動 ・網で生き物を採取し観察する活動 		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・川で活動する際に気をつけるべき事がわかるようになる。 ・川には様々な生き物がくらしていることを知り、その存在を身近に感じられるようになる。 		
時間	90分 (45分×2)		
対象学年	小学1年生～6年生		
関連教科等	1年生 生活：いきものなかよし 2年生 生活：生きものなかよし大作せん	5年生 理科：流れる水のはたらき 6年生 理科：生きものくらしと環境	
対象人数	4クラス (120人まで)、引率教師最低 4人必要 *別途保護者にもサポートをお願いします。		
授業形態	現地での体験活動		
場所	川などの水辺 (仙台市近郊)		
時期	6月～10月		
準備物	児童：運動着、帽子、スニーカー、水筒、着替え、替えの靴等	教師：救急セット、ブルーシート、タオル	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・川に入る際は必ずスニーカーまたは足をしっかりと固定できるサンダルを履いてください。裸足や肌の露出が多いものは怪我の原因になります。 ・ライフジャケットを用意しますので必ず指示に従って着用してください。 ・ライフジャケットの使用料として児童一人につき300円徴収します。 ・指導者と担任だけでは安全管理が不十分なので、保護者のサポートをお願いします。 		
備考	このプログラムは杜の都の市民環境教育・学習推進会議の「杜々かんきょうレスキュー隊事業」により平成19年に作成したものです。		

【活動の様子】



プログラムの流れ（学習指導案） 90分

学 習 活 動	時 間 (分)	主催団体及び教師の役割	
		主催団体の役割	教師側の役割（最低4人）
1 川での活動に相応しい服装を考える。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者サポーターに安全管理の説明を行う。 ・自己紹介 ○川での活動で最も怪我しやすい部位を問う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○点検と確認 ・保護者サポーターと指導者との簡単な顔合わせを行う。 ・活動がはじめられる準備を整えて整列させる。
2 ライフジャケットを着用する。	15	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフジャケットの必要性を説明する。 ・ライフジャケットの正しい着用方法を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○指導者の言うことを聞くよう促す。 ・ライフジャケット着用のサポート
3 川を歩く。	15	<ul style="list-style-type: none"> ・5～10人程度の列をつくり、前の児童のライフジャケットの肩の部分をつかませる。 ・各列の先頭には指導者、担任、保護者サポーターを配置する。 ・活動範囲の川の中をゆっくりと一周する。 ・再度上陸して、歩いて感じたことを発表してもらい、注意事項につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○指導者の支援に入る。 ・児童の行動、健康に注意を払う。
4 いきもの観察	40	<ul style="list-style-type: none"> ○予想を立てさせる。 ・いきものの生息に必要な要素を質問する。 ・いきものが隠れていそうな場所を質問する。 ・石の下、草かげでの採取の方法を実演する。 ○保護者サポーターを配置し活動をはじめ。 ・最下流部での安全管理と児童の活動サポートを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○指導者の支援に入る。 ・時間の管理を行う。
5 着替え等		<ul style="list-style-type: none"> ・必要な場合着替えや水分補給等 	<ul style="list-style-type: none"> ○けがをしていないか等、児童の状態を確認する。
6 まとめ、振り返り	10	<ul style="list-style-type: none"> ・感想発表、質問等 	<ul style="list-style-type: none"> ○感想が出ない場合、教師が支援に入る。 ・指導者の話を反復する。 ・フィールドにはどういものがあつたか。

* 備考 : 川に入っている活動は、フィールドの特性等により希望の場所で実施出来ない場合もあります。また、人数やフィールドによっては、カヌー等の体験が可能な場合があります。